

## 医療消費者と薬剤疫学TF

### 医療消費者と薬剤疫学について

---

(座長 別府宏圀)

昨年6月28日にTFメンバー(4人)、ジャーナリスト(9人)、その他(1人)による3時間ほどの座談会を開いた。TFメンバー以外の出席者は、毎日新聞、読売新聞、日経新聞、日刊ゲンダイ、日経BP、NHK、フリージャーナリスト、PMDAからの参加であった。

はじめに北沢京子(日経BP)、田中秀一(読売)、山本美智子(PMDA)の3人に短い話題提供を行ってもらい、それを手がかりに「薬剤疫学への疑問」、「薬剤疫学に何を期待するか」などを自由に話してもらい、そのテープ起こし作業が終わったところである。今夏は、その会合での議論を足がかりに、一般消費者にも参加してもらって、臨床薬理や薬剤疫学について一般の理解を深めるためのミニフォーラムを開催する。会場やパネリストは未定だが、TFメンバーのほか、昨年の座談会に参加したジャーナリストや薬剤疫学・臨床薬理に関心をもつ患者、法曹関係者を中心に計画を進めている。

(2009.5.29)

2015.11 活動終了